

A(1):2

FRaTacsは、室内機の設置台数を劇的に削減できるので空調設備工事のコストが大幅に低減可能となり、TCの比較的低減になります。

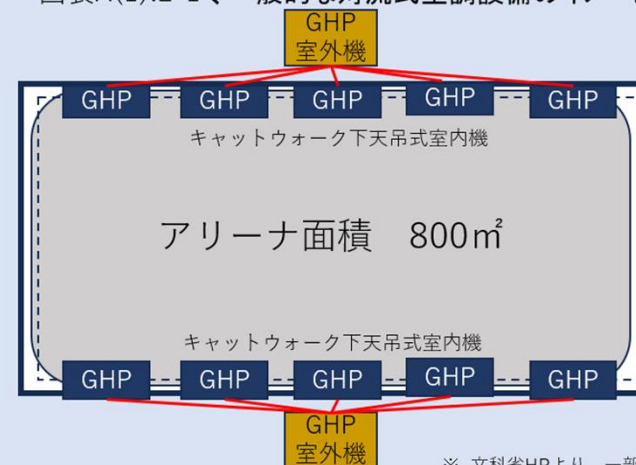
- 一般的な対流式空調設備(図表A(1):2-2)を体育館(アリーナ面積800㎡)に導入する場合、全館をムラなく空調するために「室外機2台・室内機10台」の構成とすることが推奨されています(図表A(1):2-1)。
- 一方のFRaTacsは、室内機からの温冷風を床下チャンバー(2区画の場合)で受け、流路を通じて全体にムラなく効率的に搬送・分配できるため、「室外機2台・室内機2台」のみの極めてシンプルな構成で完了します(図表A(1):2-2)。つまり、室内機を10台から2台へ大幅に削減することが可能になり、TC低減になります。
- 室内機の台数削減の効果は、次のとおり(図表A(1):1-1参照)。
 - 空調機器本体費・据付工事費の低減
 - 長く煩雑な配管・電気配線工事費の低減
 - 仮設足場(ローリングタワー等)費用の削減
 - 床工事と空調工事の並行施工による工期延伸の抑制

図表A(1):2-2、天吊型対流式空調設備



出典：文科省HPより

図表A(1):2-1、一般的な対流式空調設備のイメージ



※ 文科省HPより、一部加筆修正

**室内機
10台⇒2台**

図表A(1):2-2、FRaTacs空調設備のイメージ

